
基礎看護実習Ⅱ

水 田 真由美 教授
岩 根 直 美 准教授
坂 本 由希子 准教授
大 西 修 平 助教
野々口 陽 子 助教
米 島 望 助教

2 年次前期・必修

2 単位・90 時間

【概要・目標】

基礎看護実習Ⅱは、保健看護学の専門領域すべての実習における基盤となり、これから学ぶ専門領域に発展可能な知識・技術を学ぶ。この実習では、健康に障害のある患者を受け持ち、患者の全体像を捉え、個別性を理解する。さらに、看護問題の抽出を行い、アセスメントを学び、看護過程を展開するための基礎的能力を養う。また、既習の看護技術を患者との相互関係を通して統合し、日常生活援助を中心に基礎的な技術を習得する。

- 目標
- 1) 看護の対象者の理解ができる。
 - 2) 人間関係形成を通して対象者のニーズを把握することができる。
 - 3) 科学的な思考に基づいたアセスメントを行い、看護上の問題を見出すことができる。
 - 4) 対象者のニーズを満たすために、日常生活における基本的な看護援助ができる。
 - 5) 実施した看護を振り返り、記録ができる。
 - 6) 看護チームの一員としての自覚を持ち、責任ある行動ができる。
 - 7) 看護実践を通して、自らの課題を見出し、主体的な学習ができる。

【授業内容のスケジュール】

- 1) 実習は、集中で行う。
時期：9月の2週間
施設：和歌山県立医科大学附属病院
- 2) 実習の前にはオリエンテーションを実施する。
- 3) 実習終了後にまとめを行う。

【評価】

実習目標（評価表）に沿って、参加状況・実習記録・レポートを総合して評価する。

【教科書】

配布プリント

【推薦参考図書】

適宜紹介

【その他】